



タクシー無線

2022

No. 61

業務用自営無線の展望を描く



一般社団法人全国自動車無線連合会

目 次

◆第 62 回通常総会					
感染拡大が長引く中、東京で開催（開催結果報告）					1
開会あいさつ（会長 高野公秀）					2
総会の開催結果（進行状況）					3
功労者表彰					5
来賓祝辞					
総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長		翁長	久	様	6
国土交通省 自動車局 旅客課長		大辻	統	様	7
（代読）タクシー事業活性化調整官		梅田	智	様	
◆令和 4 年度第 2 回理事会					8
◆総務省・国土交通省 両課長のごあいさつ					
総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長		中村	裕治	様	9
国土交通省 自動車局 旅客課長		森	哲也	様	10
◆各協会の総会開催模様					11
北海道、東北、関東、信越、北陸					
東海、近畿、中国、四国、九州					
◆〈特集〉 業務用自営無線の展望を描く					
車両を使った地域事業に効果的、経済的な自営無線					18
新たな IoT 無線局の制度化をめざして					19
濃尾平野を検証フィールドに通信試験					20
◆全自無連のうごき					23
◆各無線協会のうごき					25
◆資 料					29
◆編集後記					

全自無連第 62 回通常総会 感染拡大が長引く中 東京で開催



6月17日 開会を待つ総会会場

新型コロナウイルス感染は、4年目、第7波へと突入り、熟年層への感染拡大と度重なるワクチン接種などの対策が継続しており、医療崩壊が懸念されます。

長引く感染拡大に伴い、人の動きが止まり、対面イベントの中止や観光客の激減により、その甚大な影響はタクシー業界を直撃しています。

対面と移動を伴わない生活様式と経済活動においては、タクシー需要が減少したまま、効果的な配車供給と経営が求められています。配車受注待ちだ

だけの経営でなく、効果的、かつ経済的な営業の改革が求められているとも言えます。そうした厳しい経営状況が続き、今後の無線配車のあり方が検討される中、全自無連は、6月17日、第62回通常総会を東京・都市センターホテルで開催しました。

3年連続の東京開催となった第62回通常総会は、報道が詰めかける中、総務省、国土交通省の来賓を迎え、全国から正会員（地方無線協会）の代表8名、理事15名、監事2名の計25名の会場出席と2正会員からの議決権行使書の提出を受けて始められました。

第62回通常総会議案

1. 令和3年度事業報告
2. 令和3年度決算監査報告
3. 令和4年度事業計画
4. 令和4年度収支予算
5. 役員の改選について
6. 次期総会開催地の決定



総会は、村澤総務委員長の司会で始まり、令和3年度事業報告、決算・監査報告、令和4年度事業計画、予算案などを承認するとともに、役員の改選と次期通常総会開催地（東京）の提出議案について審議、全議案が承認されました。

また、役員選出後に令和4年度第2回理事会が開催され、会長、副会長、専務理事を選定しました。

開会あいさつ

全自無連会長 高野 公秀

皆様こんにちは。全国からこのようにお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。開会のご挨拶をさせていただきます。

第 62 回通常総会の開会にあたり、一言、あいさつを申し上げます。新型コロナウイルス感染は、今もなお、高齢者への重症化の危険性や若年層への感染拡大が懸念される中で、行動規制と防止対策が緩和の方向にあります。本日の通常総会もこうした影響を踏まえて、東京での開催とさせていただきます。

しかし、いつの時代でも、こうして実際にリアルで顔を合わせるといのは、本当にうれしく思います。テレビ会議等より、やはり私はアナログというか、顔を合わせる、いろいろな人の息づかいを感じながらできる総会は本当にいいものだと思います。

長引いたコロナ禍による行動規制がようやく緩和の方向に向かいつつある中、ロシアによるウクライナ侵攻で、燃料や食料などが非常に高騰し、為替も大変な乱高下になっております。この経済とタクシー事業の再起がこれからだということに追い打ちをかけています。

タクシー業界は、さらに重しが乗ったような状態で運賃改定やデジタル投資支援などをお願いするなど、懸命な経営努力をしております。



エッセンシャルワーカー、エッセンシャルカンパニーとして、地域の必要不可欠な移動を支え、事業縮小や無線配車など厳しい見直しを余儀なく行い、特に無線配車は今までのオペレータによる待ち受け配車から、スマホマッチング配車へのシフトが非常に多用されて行われるようになっていきます。

会員の廃業や退会が増加し、今までの自営無線の利用は縮小し、スマホマッチング配車にシフトする事業者が多くなっています。タクシー事業にとっては、無線配車の必要性は変わらず、厳しい経営が続けられていくだろうとみています。

そうした中で全自無連第 62 回通常総会を迎えることは、今後の無線の活用を考える総会となると言えます。無線の積極的な活用を促進し、会員支援と組織結集を意識した活動をしっかり展開していくことが必要です。

本総会は、無線によるタクシー事業の展開と効果的・経済的な無線配車に対する調査研究や組織強化を重点課題とした活動方針とする総会にしようではありませんか。

皆様のさらなるご協力を切にお願いして、短い言葉ではございますが、開会のご挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

総会の開催結果（進行状況）

1 開会

総務委員長より第62回通常総会の開会宣言が行われ、高野会長が開会の挨拶をした。



2 総会成立報告

事務局より、正会員10団体の過半数8団体が出席、定款第17条の規定を満たしており、本総会が成立していることと、議決権行使書2団体（全数が賛成の議決表示）について報告された。

3 議長選出

総務委員長から、総会の議長は、定款第16条の規定により、会長が当たることとなっている旨を述べ、高野会長が就任した。

4 議事録署名人選任

議事録署名人の選任について議長が諮ったところ、議長一任の発言があり、定款21条に基づき、議長（高野会長）のほか次の2名を指名し、満場異議なく選任された。

天野 清美（東海自動車無線協会） 岩沖 卓雄（中国自動車無線協会）

5 議事の審議

(1) 第1号議案「令和3年度事業報告に関する件」、第2号議案「令和3年度決算報告及び監査報告に関する件」

議長から、第1号議案及び第2号議案は、関連があるので一括して説明し、審議願いたい旨の提案があり、了承された。

議長の指示により、議案書に基づく説明が事務局から行われた。引き続き、竹内監事から、令和3年度の業務及び予算の執行は、監査報告書に記載のとおり、いずれも適正に執行されていた旨の報告があった。質問、意見を求めたところ、異議ない旨の発言があり、賛否を諮った結果、満場異議なく、両議案が原案どおり決定された。

(2) 第3号議案「令和4年度事業計画に関する件」、第4号議案「令和4年度収支予算に関する件」

議長から、第3号議案及び第4号議案は、関連があるので一括して説明し、審議願いたい旨を諮り、了承された。議長の指示により、事務局から議案書に基づく説明が行われた。

質問、意見を求めたところ、異議ない旨の発言があり、賛否を諮った結果、両議案が満場異議なく承認された。



(3) 第5号議案「役員の改選に関する件」

本総会終結時をもって、役員全員の任期が満了するため、議長の指示により第5号議案書に基づき事務局から説明が行われた。議長からの理事候補者名簿一括選任の提案に対し、異議なしと発言があり、賛否を諮った結果、全員異議なく原案どおり選任された。

(4) 第 6 号議案「次期通常総会開催地の決定に関する件」

議長の指示により、第 6 号議案について、事務局から議案書に基づく説明が行われ、議長が提案どおり東京としてよいか諮った結果、満場異議なく承認された。

6 議事終了

議長から、本総会に付議された議案についてすべて審議を終了し、決定・承認された旨の発言があり、総会の議事を終了した。

総会出席者数 8 団体
東北自動車無線協会 関東自動車無線協会 北陸自動車無線協会 東海自動車無線協会 近畿自動車無線協会 中国自動車無線協会 四国自動車無線協会 九州タクシー無線協会
議決権行使書提出数 2 団体
北海道ハイヤー無線協会 信越自動車無線協会

7 休憩及び再開

全議事終了後、休憩をはさみ、再開した。功労者（表彰状 9 名、感謝状 8 名）の名前を読み上げ、出席の功労者に賞状を授与した後、来賓に祝辞をいただいた。

《功労者表彰》出席者（敬称略）

〈表彰状〉磯 博樹 〈感謝状〉下山 清司、竹内 英俊



《来賓あいさつ》

翁長 久 様（総務省総合通信基盤局 電波部 移動通信課長）

大辻 統 様（国土交通省自動車局 旅客課長）

梅田 智 タクシー事業活性化調整官 代読

8 閉 会

高野会長の閉会挨拶後、総務委員長による第 62 回通常総会を終了する旨の発言で終了した。



功労者表彰

タクシー無線の健全な発展と組織の育成に尽力された功労者に、表彰状、感謝状の贈呈が読み上げられ、出席者には賞状が授与されました。

また、功労者には、6月30日に賞状と記念品を送付しました。

表彰状

(信越)	金井	正志	様	第一タクシー株式会社	代表取締役社長
(近畿)	西井	孝志郎	様	トモエタクシー株式会社	取締役会長
(四国)	池田	忠臣	様	愛媛県個人タクシー協同組合	
(九州)	田中	信之	様	久留米報国自動車有限会社	代表取締役社長
(北海道) 旭日双光章	紫藤	正行	様	ダイコク交通株式会社	取締役会長
(関東) 旭日双光章	磯	博樹	様	キャピタルモータース株式会社	代表取締役会長
(東海) 旭日双光章	三澤	賢治	様	シンフジハイヤー株式会社	代表取締役社長
(九州) 旭日双光章	四元	永生	様	元船光タクシー株式会社	代表取締役社長
(近畿) 藍綬褒章	田畑	太郎	様	滋賀タクシー株式会社	代表取締役社長

感謝状

(東北)	下山	清司	様	北星交通株式会社	
(関東)	秋田	隆	様	東京都個人タクシー協同組合	
(中国)	梶川	政文	様	東和タクシー株式会社	
(九州)	吉本	悟朗	様	エムアール交通株式会社	
(九州)	羽仁	正次郎	様	株式会社ハニ	
(九州)	田中	亮一郎	様	第一交通産業株式会社	
(九州)	齊藤	恭宏	様	株式会社鳥栖構内タクシー	
(全国)	竹内	英俊	様	一般財団法人情報通信振興会	

来賓祝辞

総務省 総合通信基盤局 電波部

移动通信課長 翁長 久 様

皆様こんにちは。改めまして、ただいまご紹介いただきました総務省移动通信課の翁長です。このような会に出るのはとても久しぶりでして、コロナのせいで、ほとんど今リモートの会議が多くなっております。立場上、講演等にも呼んでいただけるのですが、この2年間講演会も全部リモートで、一人で会議室にこもって、パソコンの前で1時間ぐらいしゃべっていると、くらくらしてきて、これは誰が聞いているのか、何をやっているのだろう、独り言を1時間しゃべっているのかとったりするのですが、本日はこのような所にお招きいただき、感謝申し上げます。コロナも昨日の報告では、千人を下回ったということで、徐々に普通の生活に戻っていければと期待しています。

本日ご列席の皆様におかれましては、日頃より総務省の情報通信行政について格別のご指導とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先ほどは、多年にわたりタクシー無線の発展に寄与された功労者として表彰されました方々、誠におめでとうございませう。心からお祝い申し上げます。

タクシー無線は、昭和28年に我が国で導入されて以来、今年で69年、もうすぐ70年という年を迎えます。この間、皆様のご尽力と、無線技術も発展してきたことにより、利用者の利便性の向上、社会に大きく貢献しているものと承知しています。

先ほど申し上げたとおり、新型コロナウイルス感染症による様々な影響が依然続く中、タクシー事業者の皆様におかれまし



ては、感染防止対策に取り組みつつ、日常の移動手段の提供をいただいていることに感謝申し上げます。特に感染者が出た時など、かなりタクシー無線を利用されていると思いますし、そういう中で皆様方の業界がコロナという非常事態に大きく貢献していることは、周知の事実だと思います。改めて感謝を申し上げます。また、本年3月の福島県沖地震の際、帰宅困難者などへの輸送業務に積極的に取り組まれるなど、関係者の皆様のご尽力に改めて深い敬意を表します。

昨年度は、地域DX化の実現に向けた業務用IoT無線システムの実現に向けた検討会に対し、全国自動車無線連合会の皆様方にご尽力をいただきました。本日の総会資料にもその報告が記載されています。無線通信だけではなく、情報通信分野の発展は凄まじいものがあります。昨年度は研究会にご尽力いただきましたが、今年度も実証実験に取り組んでいきたいので、引き続き、皆様方のご協力をいただければと考えております。よろしく願いいたします。

最後になりましたが、全国自動車無線連合会及び本日ご列席の皆様の益々のご発展とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

翁長課長様は、本年7月異動になり、中村 裕治 様に引き継がれました。ご指導に感謝します。

国土交通省 自動車局

旅客課長 大辻 統 様

(代読) タクシー事業活性化調整官 梅田 智 様



ただいまご紹介いただきました、国土交通省自動車局旅客課でタクシーを担当しております梅田です。今日は、全国自動車無線連合会の第62回通常総会が開催されましたこと、心よりお祝い申し上げます。本日、ご招待いただいた旅客課長の大辻が出席困難だったため、私が代理出席しております。ご容赦ください。祝辞を預かってきましたので代読させていただきます。

まずは、自動車交通行政に日頃よりご協力いただき、誠にありがとうございます。

タクシー業界の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症が拡大する中においても、雇用の維持を図りつつ、感染防止対策を講じた上で、国民の移動手段の確保のためにご尽力いただいていることに対し、深く敬意と感謝を表したいと思います。

特に、タクシー無線は、効率的なタクシー配車の実現に寄与するのみならず、災害等の非常時における人命の救助、災害情報の伝達等にも効果的なツールであると考えており、引き続き、タクシー無線を有効に活用し、機動性や柔軟性といったタクシーの特性を活かしつつ、利用者の利便性向上に資するタクシーサービスの提供に一層ご尽力いただきますようお願いいたします。

国土交通省では、コロナ禍においても運転者の皆様や利用者が安心してタクシーに乗車できる環境整備を進めるため、空気清浄機の設置をはじめとした感染防止対策について支援を行っているほか、LPガスの価格高騰に対する支援を行っているところであり、引き続き、タクシー業界に対して必要な支援を行ってまいりたいと考えております。

最後になりましたが、全国自動車無線連合会並びに傘下会員の皆様の益々のご発展と、本日ご列席の皆様のご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

大辻課長様は、本年7月に異動され、森 哲也様に引き継がれています。

令和4年度第2回理事会

議 事 会長、副会長及び専務理事の選定等について

1 会長、副会長及び専務理事の選定

さきの第62回通常総会で選出された理事の中から、次の者を会長（代表理事）、副会長及び専務理事に選定することとする。

会 長（代表理事）	高野 公秀（関東自動車無線協会）
副 会 長	紫藤 正行（北海道ハイヤー無線協会）
副 会 長	石川 康夫（東北自動車無線協会）
副 会 長	金井 正志（信越自動車無線協会）
副 会 長	土田 英喜（北陸自動車無線協会）
副 会 長	天野 清美（東海自動車無線協会）
副 会 長	池田 誠也（近畿自動車無線協会）
副 会 長	岩沖 卓雄（中国自動車無線協会）
副 会 長	渡部 光男（四国自動車無線協会）
副 会 長	稲葉伸一郎（九州タクシー無線協会）
専 務 理 事	岡崎 邦春（全国自動車無線連合会）

2 専門委員の委嘱

無線協会の専務理事交代に伴い、新たに次の者を専門委員に会長より委嘱することについて、理事会の同意を求める。

専 門 委 員	鈴木 康治（北海道ハイヤー無線協会）
---------	--------------------





総務省総合通信基盤局 電波部
移動通信課長 なかむら ゆうじ 中村 裕治 様

はじめに、新型コロナウイルス感染症による様々な影響が依然続く中、一般社団法人全国自動車無線連合会会員の皆様におかれましては、感染防止対策に取り組みつつ、日常の移動手段の提供のみならず本年3月の福島県沖地震などの際、帰宅困難者などへの輸送業務に積極的に取り組み、関係者の皆様の御尽力に改めて深い敬意と感謝を申し上げます。

タクシー事業の円滑な運用には、タクシー無線はじめ電波の利用が欠かせません。タクシー無線は、昭和28年に我が国で導入されて以来、皆様の御努力や無線技術の向上もあり、利用者の利便性の向上、配車の効率化などが実現されております。平成15年10月にはデジタル方式が導入されており、全国自動車無線連合会をはじめとしたタクシー事業者の皆様の御協力もあって、現在では全国で高品質のタクシー無線を御利用いただけるようになりました。改めてこれまでの関係者の皆様の御尽力に感謝を申し上げます。

総務省では、昨年度、地域DX化の支援のため地域自営業用IoT無線システムの実現に向けて、全国自動車無線連合会に御協力をいただき、中部地域において調査検討を実施いたしました。調査検討では、近年センサネットワーク等でも用いられているLPWA (Low Power Wide Area) 技術を活用した周波数有効利用、地域共同利用型の移動通信インフラ構築及び車載系IoT移動通信アプリケーション例について検討しました。今後、検討の結果を基に社会実証実験を実施し、地域社会の

DX化を推進する中で、タクシー事業の一層のサービス向上につなげたいと考えております。

また、人やモノの安全で快適な移動の実現に向けて、情報通信技術を用いて「人」や「道路」、「自動車」などをつなぐV2X (Vehicle to everything) 通信を実現するITS (高度道路交通システム) の普及を、主に電波の観点から推進しております。自動車がネットワークにつながることで、車内が単なる移動空間から様々な社会・経済活動も行える空間になるなど、誰もがより安全・便利な移動サービスを楽しむようになることを期待しております。

ITSの更なる普及に向け、これまでに、5.9GHz帯に自動車同士、自動車とネットワークなどをつなぐ新たな無線システムを導入した場合の技術的検討を行うなど、自動運転社会を見据えた取組を進めております。

今後も、重要な移動サービスの一つであるタクシーには、利用者から一層の高度化・多様化が望まれているものと思われれます。引き続き、皆様の御意見を伺いながら、タクシー業界におけるサービス向上や地域社会への貢献等の様々な取組を後押しできればと考えております。今後とも電波の有効利用に御理解、御協力いただけますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、全国自動車無線連合会及び会員の皆様のますますの御発展を祈念いたしまして、御挨拶といたします。

タクシー需要回復に向けたICT

国土交通省 自動車局
旅客課長 森 もり 哲也 様



一般社団法人全国自動車無線連合会の会員の皆様におかれましては、平素より自動車行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

タクシー無線は約70年の歴史がありますが、タクシーは、地域住民のニーズに応じてドア・ツー・ドアのきめ細かなサービスの提供が可能な唯一の移動手段であり、国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な公共交通機関であることから、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中においても最低限の事業の継続が求められ、自身やご家族が感染するリスクを負いながらも、国民の移動手段の確保のためにご尽力いただいていることに対し、深く敬意を表する次第であります。

こうした中においても持続可能な経営のためには生産性向上・利用者サービス向上が必要であり、これにはICTの活用が効果的です。例えば、従来のオペレーターによる音声通話での配車も、配車アプリを導入することで効率化が図られるとともに、アプリ利用者へのクーポンの配布など、新たな需要の喚起にも繋がり、経営改善に寄与するものと考えております。

令和4年6月7日に閣議決定された「デジタル田園都市国家構想基本方針」においても、タクシー事業者が、ポストコロナにおいて公共交通機関として持続性を確保することができるよう、デジタル技術の活用による生産性の向上等を引き続き推進していくこととされており、国土交通省といたしましても、配車アプリ、多言語対応タブレ

ット端末やキャッシュレス決済機の導入、無線配車へのデジタルシステムの導入など、ICTを活用したDX化による経営効率化を図るための支援を講じているところです。さらに、本年3月には、デジタル化による様々な効果を実証調査により検証し、その結果から得られた知見や事例を「旅客自動車運送事業のためのデジタル化の手引き」として取りまとめました。各種デジタル機器やシステムの特徴から導入・運用時の留意点等、タクシー事業者の皆様にとって参考となる情報をまとめておりますので、効果的なデジタル化の実現に向け、ぜひご活用ください。

会員の皆様におかれましては、タクシー無線やICTを有効に活用し、機動性や柔軟性といったタクシーの特性を活かしつつ、利用者の利便性向上に資するタクシーサービスの提供に一層ご尽力いただきますようお願いいたします。

最後に、一般社団法人全国自動車無線連合会並びに傘下会員の皆様の益々のご発展、ご健勝を祈念しつつ、ご挨拶とさせていただきます。

各協会の総会開催模様

3年ぶりの全会員参加で

北海道協会

令和4年度通常総会は、5月26日、札幌市内のホテルにおいて(一社)北海道ハイヤー協会と同日日程で開催されました。

本年度は、新型コロナウイルスの感染症が一定程度の落ち着きを見せていることから、3年ぶりに全会員参加の総会形式で開催されました。

会長あいさつに続き、令和3年度事業報告、会計報告、令和4年度事業計画案、予算案、役員選任の審議が行われ、全議題とも全会一致で承認・決定されました。

なお、役員につきましては、理事2名、監事1名、専務理事1名の計4名が交代となりました。

東北協会

2年振りの集合総会に60名

東北協会の令和4年度通常総会は、6月3日(金)に仙台市内のホテルにおいて、60名と従来より小規模でしたが、2年ぶりに集合形式でもって開催しました(懇親会は設定せず)。

総会来賓として、総務省東北総合通信局、国土交通省東北運輸局、宮城県警察本部からご出席をいただき、3名の皆様からご祝辞を頂戴しました。

本年度は協会役員の改選期にあたり、下山清司会長が副会長に戻られ、石川康夫副会長(山形県)が会長に選任され、石川新会長から次のとおり就任挨拶がありました。

コロナ禍もあって東北6県ではタクシー車両が2,800台も減少した。インバウンドを含めた厳しい環境が続き、制度面では乗合タクシーなどが進んでいくだろう。無線局の減少は不可避であり、無線配車からアプリ配車に移行する動機も増加するなど、自動車無線の環境が大きく変化しており、当協会ではこれら課題に対応するためICT活用等を視野とした令和4年度事業計画を策定した。会長として課題に適切に対応し、協会発展のために尽力したい。



石川新会長



功労者表彰では無線局管理が優秀な会員22社、防災防犯に功績のあった乗務員3名に対して表彰がありました。

令和5年度の総会開催県は、これまでの開催順を踏襲して「岩手県」とすることが決定しました。

伊香保温泉で総会開催 懇親会も

関東協会



2022年度 関自無協第62回通常総会は、5月12日(木)に群馬県渋川市「ホテル天坊」で開催されました。高林総務委員長の司会により始まり、すべての議案が承認・可決されました。

高野会長は、開催にあたり、「3年ぶりに群馬県での開催となり、皆様と対面での開催をうれしく思っています。新型コロナ感染については予断を許さない状況です。この1年にコロナ禍でのオリンピック開催があったり、最近のロシアのウクライナ侵攻の影響で燃料

費の高騰など、我々の経営努力では賄いきれない状況が出てきております。そういう中で無線システムそのものは変わってきていますが、無線を使った効率的経営を目指すことに変わりはありません。次のステップに行くためにも現行システムを熟知、活用していくことが重要です。」と挨拶しました。

会員総数 690 中、出席会員数 26、という少し寂しい総会でしたが、事前配布した議案に賛成する議決権行使書 411 件を加え総会は成立し、議案審議が行われました。

第1・2号議案の、昨年度の業務執行状況報告と決算報告及び監査報告に関する件が拍手で承認され、続く第3・4号議案の今年度の業務執行計画と収支予算に関する件も拍手で承認されました。

第5号議案の次期通常総会の開催地に関する件は秋の理事会で提案することとし、第6号議案の役員改選に関する件は、各支部から推薦のあった理事25名、監事3名が選任されました。

続く、懇親会は新型コロナ感染防止に留意しつつ、互いに距離をとった着座形式でしたが、参加者は久々の対面の懇親会で大いに語らい親交を深めました。



信越協会

軽井沢で開催 総会后、有志による懇親会

令和4年通常総会は、新型コロナウイルス感染数が若干減少傾向を見せ始め、観光地への人出が増えつつある中、前年新副会長に選出された松葉理事のお骨折りにより、新緑の緑豊かな長野県軽井沢町の「旧軽井沢ホテル音羽の森」での開催とし、会員各社への開催案内としました。しかし、新たな変異株であるオミクロン株の感染数増加もあり、昨年と同様の出席状況となり、協会役員を中心に正会員出席数18名、委任状提出正会員109名の合計127名の出席により総会は成立しました。

総会は金井会長諸事情による出席不可を受け、副会長である吉田理事を議長代行として選出した後、議長代理選出にかかる経緯説明を含めた開会挨拶に続き、コロナ感染拡大以降、総会出席の要請を控えてきた信越総合通信局の無線通信部長である馬場部長の来賓祝辞として、赴任、2年目での初の外部



吉田副会長開会挨拶

会議出席とのエピソードも交え、タクシー用デジタル無線局完全移行への感謝が述べられました。

議事では、令和3年度事業報告及び収支決算報告、令和4年度事業計画及び収支予算案について審議いただき、満場一致承認され、今年度事業を推進していくことが確認されました。

総会後は、有志による懇親会も開催され、各社の事業状況の報告を含めた情報交換により、久方ぶりにマスクを外しての懇談となりました。会場となった旧軽井沢の賑わいも、

都会から訪れたと思われる老若男女による昼下がりの散策風景から、夕方以降の旧軽銀座通りが閑散としている風景には、まだまだ、ウィズコロナは遠いと思った次第です。どこの観光地においても、早く昔日の街並みに溢れかえる観光客の賑わいが戻って欲しいものです。

65歳以上の高齢者等を中心に4回目のワクチン接種も始まっていますが、地域の観光促進を狙ったホテル等施設利用にかかる県民割り助成も、3回接種や陰性証明を条件としていて、GoToトラベル助成時の様なインパクトある人流移動に繋がっていないように感じました。早くウィズコロナによるタクシー利用で売上増加となります様に！



馬場部長挨拶

北陸協会

自営無線の利便性を活かして

北陸協会の第58回通常総会は、去る6月9日（木）午後2時から金沢市内のホテルにおいて、総勢30名の出席により開催しました。

過去2年間は、コロナウイルス感染症対策として、縮小して開催しましたが、全ての会員に出席をご案内しての総会は3年ぶりとなりました。

冒頭、土田会長から「ここ2年、総会は出席者を限定しての開催としたが、本年度は久しぶりに全会員に出席を呼びかける総会とした。ゴールデンウィークの北陸新幹線利用は、前年の2.6倍となりウィズコロナ

に向け、マスク着用緩和の動きも含め人の動きも見られるようになってきたことから、弱含みではあるが売上は7~8割まで回復してきたところ。この2年半は、業界にとっては厳しく、今般のエネルギー

高騰もあり、乗務員確保に向けては、タクシー運賃値上げにより対応する必要があると認識している。

さて、当協会は、IoT化が叫ばれる中、自営無線の在りようも希薄となり、会員、無線局数とも減少し、存続が危ぶまれ、協会のメリットを含め、今後どのような位置づけができるか難しい状況となっている。ただ、郡部中心に自営無線は活用され、無線機器も10年単位で使用できることから、利便性に寄与していることも事実である。また、



3 県の業界の意見交換の場としては、当協会が唯一の団体でもあり、会員からの意見を聞きながら、今後の協会活動を模索していきたいのでよろしく願います。」との挨拶がありました。

議案審議においては、令和 3 年度事業報告として、コロナ禍による活動制約の中、高度化支援については全自無連との連携により、次世代タクシー無線の開発に繋がる調査研究、IP 無線共済の回線移行、タクシー利用検索アプリの運用に取り組み、電波法手続きについては、総通局の指導を仰ぎながら約百件に及ぶ支援を行ったほか、会報誌、インターネットホームページを中心に、会員相互間の情報共有に取り組んできたこと、令和 4 年度事業計画として、全自無連が中心となって推進するタクシー無線の高度化に向け、引き続き協力して行くこととし、最新システムの紹介に向けた研修会の開催を検討するほか、電波法に係る手続き支援に着実に取り組むとともに、会員相互間の情報共有の促進に努めていくこと、を含む全ての議案が承認されました。また、次年度総会開催地は、コロナ禍の不透明感を考慮し、「石川県内」で開催することになりました。その後、無線配車業務に功績のあった方々に対する表彰式、また、臨席いただいた、総務省北陸総合通信局、国土交通省北陸信越運輸局石川運輸支局から祝辞を頂戴し、無事終了しました。

東海協会



挨拶される天野会長

3年ぶりの対面形式、懇親会は見合わせ

6月2日、東海自動車無線協会第40回通常総会は、新型コロナウイルス感染症が収束に向かうなか、総勢44名が参加し名鉄グランドホテルにおいて開催され、提案されたすべての議案を承認・決定しました。

今年度は、懇親会も含め通常通りの総会開催となるようにと準備を進めていましたが、感染拡大防止と感染リスクの軽減を図ることから懇親会を中止としての開催となりました。

総会では、永年勤続無線従事者（勤続10年2名）の表彰式が行われ、天野会長から会員の代表者に表彰状と賞品が授与されました。また、令和

3年秋の叙勲で、旭日双光章を受章された三澤副会長には、その栄誉を讃えてお祝金が贈呈されました。

天野会長の挨拶では、コロナ禍においてもエッセンシャルワーカーとして事業を継続された全ての会員に感謝と敬意が表されるとともに、感染者数の減少とともに社会経済活動も回復しコロナとの共存へのステージに移っている、タクシー無線の有効性はコロナ禍においても実証されており、私たちは一体となってタクシー無線の60年間で培った信頼と実績をもとに、技術の進歩に併せて多様化するニーズに応えていくことが必要である、と述べられ、引き続き協会への結集を要請されました。

令和4年度事業計画では、前年度に引き続き、タクシー無線の高度化に向けての情報提供、許認



東海自無協第40回通常総会



全自無連 岡崎専務理事

可サポート事業の充実、名古屋地区での調査検討会への支援を重点に実施していく、また、令和4年度予算については、コロナ禍のなかで会員や無線局の減少続く厳しい財政状況を踏まえて、人件費の削減の継続や会議運営の効率化を図るとの提案があり、審議の結果、すべての議案が原案どおり承認・決定されました。

役員については、理事1名の交代があり、新たな理事に静鉄タクシー(株)の根来晃司社長が選任されました。

来賓としてお招きした全国自動車無線連合会の岡崎邦春専務理事からは、総会への祝辞の中で令和3年度に名古屋で実施した調査検討会の概要報告と、引き続き、令和4年度に名古屋地区で計画している調査検討会について協力要請がされました。

参加された会員の皆様は、懇親会は中止となったものの、3年ぶりの再会に話を弾ませ盛会となりました。

通常スタイルの総会に 98 名が再会

近畿協会

令和4年度通常総会は、新型コロナの「第6波」が落ち着きを見せだしていた5月24日、和歌山市のホテルアバローム紀の国で開催されました。感染症対策から懇親会こそ着席となりましたが、3年振りにコロナ前の通常スタイルで開催され、無線関係優良従業員表彰式や賛助会員による無線機器等の展示、来賓招請と懇親会に、近畿各地から総勢98名が参加し、久しぶりの再会に交歓する和やかな総会となりました。

デジタル化により、音声通信からデータ・画像伝送へ多機能化、自動化がますます進む中、タクシー配車もアプリをはじめとする多様な手段と多様なサービス事業者が現れ、更なる多様なニーズへの対応が求められています。会員減少、移動局減少、会費減少のなかで、今後何をするのか、何ができるのか、より明確に打ち出していくことが必要になっています。



人数制限なしによる総会を開催

中国協会



コロナ感染者数は、減少傾向にあることから、3年ぶりに人数制限なしによる総会を6月7日、広島市(グランヴィア広島)で開催し、会員31社、賛助会員6社(10名)の出席がありました。

また、来賓として、中国総合通信局無線通信部長、中国運輸局広島運輸支局長、広島県警察本部刑事部長が出席され祝辞を述べられました。

祝辞のあと、中国運輸局自動車交通部旅客第2課長から「タクシー事業者への支援策」について、講演されました。

主な議論については、会員が減少するなかでの協会運営について、IP無線へ移行する会員への継続加入の働きかけや配車の効率化の検討、総会費の節減等、取り組みが必要。また、現在使用のタクシー無線は、配車効率の向上や災害時に有効活用していただきたいという意見が出されました。

全ての議案については、会員223名中、書類による表決を含めて163名が賛成し過半数により可決しましたが、今後の総会開催地については、地域によっては、会員少数のため開催は困難という意見もあり、継続検討ということになりました。

最後に会長から、タクシー事業は、スマホを活用した配車アプリの導入等により、乗客の利便性は高まるでしょうが、コロナ感染が収まっても、以前のような生活スタイルにもどらないと言われていきますので、厳しい事業環境におかれます。皆様の一層の創意工夫と一致団結して、この難局を乗り越えましょうという、力強いことばで終了しました。

総会終了後、懇親会を開催しましたが、会員皆さまは、久々のコミュニケーションをかわす場となり、親交が深められました。



四国協会

来賓、懇親会なしの総会に

6月21日、第62回通常総会を高松市生涯学習センターにおいて、理事・監事14名出席のもと開催、(新型コロナウイルス感染症がまん延中のため、来賓招聘なし、懇親会なし)

2021年度の事業について、主に次の事項を報告しました。

- ・IP無線化やIP無線共済の廃止などにより、事業者数が前年比8社減少し、201社になる
- ・コロナ禍による廃業・減車やIP化により、自営無線局数の減少が継続し、3,000局割れに至る
- ・会員の1/4がIP無線、MCAを利用

- ・自営デジタル化後の経過年数 10 年以上の無線局数が、全体の 34% になり、4 年後には 95% 超となる見込み
- ・会員、賛助会員に対する行政手続き代行数は、年々減少しているが、一定数の需要がある
- ・会費収入の減少が止まらず、今後も続く見込み

その他の議案等もすべて報告、承認されました。

また、総会後に「四国自動車無線協会の現状と将来展望」について、理事会を開催しました。四国協会の資産状況、収支の中期予測及び、前回論議の内容を踏まえ、当面の間は、経費節減により四国協会の運営を、現状のまま継続していくこととしました。

縮小・簡素化して開催

九州協会

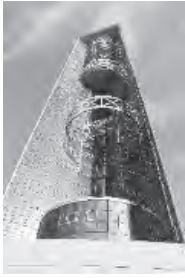


九州タクシー無線協会の第 61 回通常総会は、6 月 2 日、熊本市の「ザ・ニューホテル熊本」において開催されました。

今年度の総会も、新型コロナウイルス感染防止及び経費削減措置のため、来賓招聘や懇親会等は行わず簡素化した形式となりました。併せて、ソーシャルディスタンス確保のため全体的な規模は縮小せざるを得ず、最終的には支部長又は副支部長を中心に 15 名の出席となりました。なお、多数の委任状提出により総会の成立要件は満たしました。

総会では冒頭、稲葉伸一郎会長が挨拶に立ち、無線の先駆けはタクシー無線であることを強調したうえで、「①デジタル完了は無線の高度化へのスタートという意識が重要、②過去の災害時に果たしてきたタクシー無線の社会貢献に誇りを持つ、③今後は勉強会等の企画も必要」と述べられました。

続いて、功労者表彰及び議案審議が行われ、①令和 3 年度事業報告、②令和 3 年度決算報告及び監査報告、③令和 4 年度事業計画、④令和 4 年度収支予算、⑤役員の一部改選、⑥次期通常総会の開催地について、それぞれ事務局からの提案どおり満場一致で決議・承認されました。



特集

業務用自営無線の展望を描く

新型コロナウイルス感染は、第7波、4年目に入っている。タクシー業界は需要と売上が大きく減少し、また今後、コロナ禍が終息したとしても対面と移動を伴わない生活様式の変化とインバウンドの減少から、需要増加は期待できないだろうとされている。

そうした中、タクシーには、アプリ配車やキャッシュレスサービスなどのデジタル投資と進化といわれる経営努力が求められ、さらに厳しい需給経営の中にある。大量需要、大量供給の競争的時代には効率的配車供給が求められ、今やタクシー事業は、運賃上げや事業者への経営助成とともに、空車走りを減らして最も効果的に配車供給する経営が求められている。

タクシー無線をはじめ ICT 情報通信技術は、競争的需要確保や効率的処理だけでなく、効果的な受注と配車供給にも成果を発揮する。

こうした効果的な車両経営は、タクシー事業には限らない。車両を使った配送事業、点検回収事業などの車両動態管理にも当てはまる。DX デジタル変革は、利用頻度や需要、車両稼働や運営経費に見合った利用効果と経済性のあるものでなければならない。車両に搭載する業務用無線にも、そうした活用効果と経済的運用が求められているといえる。

車両を使った地域事業に効果的、経済的な自営無線

全自無連は令和元年度から、タクシー配車をはじめ交通や車両を使った地域事業のデジタル改革を支援する業務用 IoT 無線の実用化に向けた調査研究を進めています。令和元年度は、東京において汎用性のある LPWA 技術の業務用自営無線への適応性について検討し、2年度は、近畿地区において、その通信性能の検証と実用化への検討を行いました。昨年度からは、中部地区において、具体的な地域ニーズ把握と利用形態の検討などを行ってきました。

そして今年度、「地域自営 IoT 無線システムの社会実証に向けた技術試験」第1回調査検討会を8月23日、名古屋市東山スカイタワーにて開催しました。



調査検討会構成員

阪田史郎	千葉大学	名誉教授
鈴木秀和	名城大学	准教授
石原 進	静岡大学	教授
岡田 啓	名古屋大学	准教授
伊藤泰久	東海総合通信局	部長
高部佳之	移動無線センター	東海長
小池幸永	株式会社デザイン	社長
佐藤和也	新潟通信機(株)	主任
小澤 裕	マスプロ電工(株)	副部長

利用頻度・利用効果に合った

自営 IoT 無線の経済性と通信能力

今、大都市や企業においては、ビッグデータ、IoT、5G などの高速、大容量の通信技術を利用して、街ぐるみ、あるいは産業全体としての車両を使った輸送、集配、点検供給や保安監視などのデジタル変革を進めようとしています。

タクシー事業では、アプリ配車やキャッシュレスサービス、MaaS などがデジタル変革の一例と捉えられますが、そうした地域事業の DX 化には、デジタル投資と運営(経営)の見直しが伴います。中小あるいは地方の事業者には、そうしたデジタル投資や運営費の負担が経営持続への重みになり、多額の経済負担を伴わない持続的、かつ経済的な DX 化の推進が求められています。

そこで、需要に見合った効果的かつ、きめ細かに対応する DX 化の取組みが重要です。特に大都市周辺や地方における DX 化の促進には、その地域の通信需要(通信頻度)に対応した経済的なデジタル通信システムが望まれています。

全自無線では、今年度、愛知県下において自治体の協力を得て、地域自営 IoT 無線システムの社会実証に向け、バス、タクシー車両を使った通信技術試験と調査検討会を実施する計画です。



新たな IoT 無線局の制度化をめざして

この地域自営 IoT 無線システムは、LPWA といわれるデータ通信システムに広く使われている LoRa 拡散変調技術を採用した業務用無線局で、電波はもちろん、大ゾーン基地局、通信サーバといった通信インフラを共同利用する経済的な無線システムです。それぞれの地域内で展開される地域交通や車両を使った各種作業の自動化、効率化、スマート化等に対応する経済的な業務用無線局として制度化を目指しているものです。

実施時期	7月～9月	10月～12月	1月～3月
技術試験	通信実験環境設営 電波伝搬調査/エリア確認	通信機能試験	技術実証試験 アプリケーション検証
実施場所	(基地局)東山スカイタワー (移動局)愛知県東南部走行	東山スカイタワー、 日進市周辺 他	日進市 他 (ミバス、タクシー、ゴミ収集車)
調査検討会	第1回調査検討会	第2回調査検討会	第3回調査検討会



通信技術試験を計画

愛知県日進市等の地域をモデルとして技術試験を計画し、バスロケーション、ゴミ収集車、タクシー配車などのユーザーアプリケーションを模した実証試験を行い、その他、移動体を使ったユーザーアプリケーションへの拡張可能性についても検討を行います。

東山スカイタワーと実験用アンテナ3本



〔実験局を搭載したタクシー車両〕



濃尾平野を検証フィールドに通信試験

本 IoT 無線システムは、広域で一体的な生活・経済圏を形成する大都市及びその周辺地域において、交通や車両による様々な地域事業や輸送・配送サービスの自動化スマート化を図るデジタル変革を支援し、周波数、基地局等の通信インフラを共同利用する自営 IoT 無線システムです。

伝送データ量や通信頻度の比較的少ない地域事業者向けの小容量データ移動通信システムの構築・運用に適し、高所に設置された大ゾーン無線基地局の特徴を活かし、広範な通信ゾーン内に展開する車両を使った多様な地域事業に効果的かつ適切な IoT データ通信を行うものです。

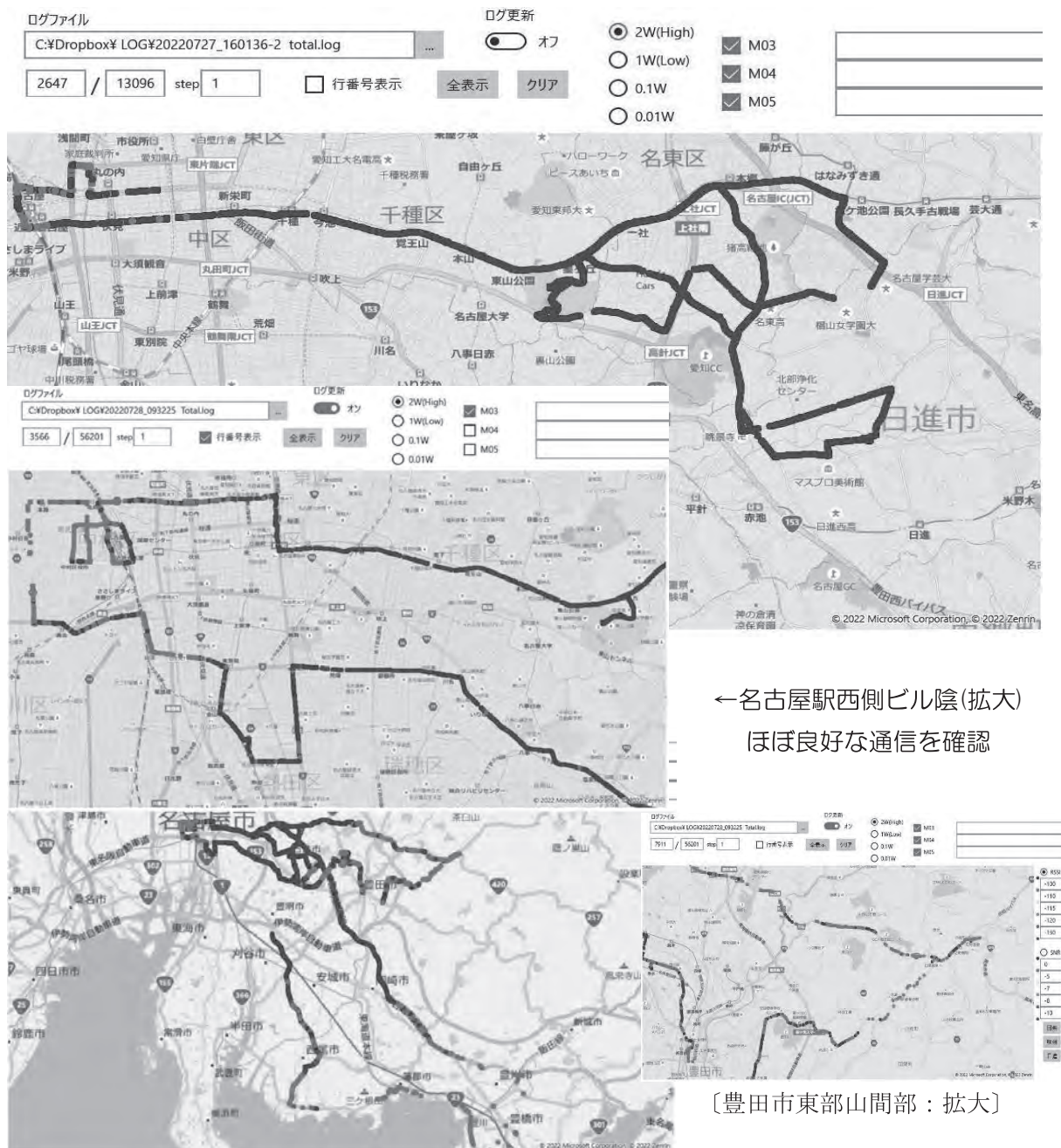
本技術試験は、広大な濃尾平野の平地を検証フィールドとして、車両に搭載した業務用 IoT 無線局のデータ通信技術試験を行い、社会実装に向けた利用効果と技術及びシステムの有効性・優位性等を実証するものです。

電波伝搬調査	通信確認、長距離山間伝搬調査、ビル影等調査、通信エリア確認	
調査実施時期	調査内容	調査結果
7月27日実施	基地局設営・通信確認（移動局3局） 調査コース事前確認（名古屋駅周辺、日進市内）	基地局5W移動局2W ほぼ良好
7月28日実施	電波伝搬調査（長距離伝搬：豊橋・蒲郡方面50km） （豊田市東部山間30km・豊田市市街地20km） （ビル影調査：名古屋駅西周回、日進・みよし周回）	蒲郡海岸、豊橋平野 で不感がみられる。 ビル影、豊田・岡崎 市街地25kmは良好
8月23日実施	電波伝搬調査（長距離山間伝搬：豊橋東部山間 35km） （ビル影：名古屋駅西周回、日進市役所―赤池駅間） （精密伝搬調査：日進市北東地区―東郷美化センター間）	（結果を分析中）

第1回技術試験（電波伝搬調査）は、7月27-28日と調査検討会当日の8月23日に行われ、長距離やビル陰への通信性能を検証しました。

初日の7月27日は、後にアプリケーション検証が行われる愛知県日進市周辺フィールド及び高層ビル群の陰となる名古屋駅西方面を走行しての電波伝搬調査を行いました。

調査結果は、東山タワーから東方、数kmの距離にある日進市周辺エリアでは、良好な通信が確認され、また、タワーから西方向にあたる名古屋駅ビル陰の伝搬調査では、タワーに設置された構造物等の遮蔽による悪環境をあえて設定しての調査でしたが、ほぼシームレスな通信が確認されました。今後、詳細な分析を行い、アプリケーション検証に活かします。

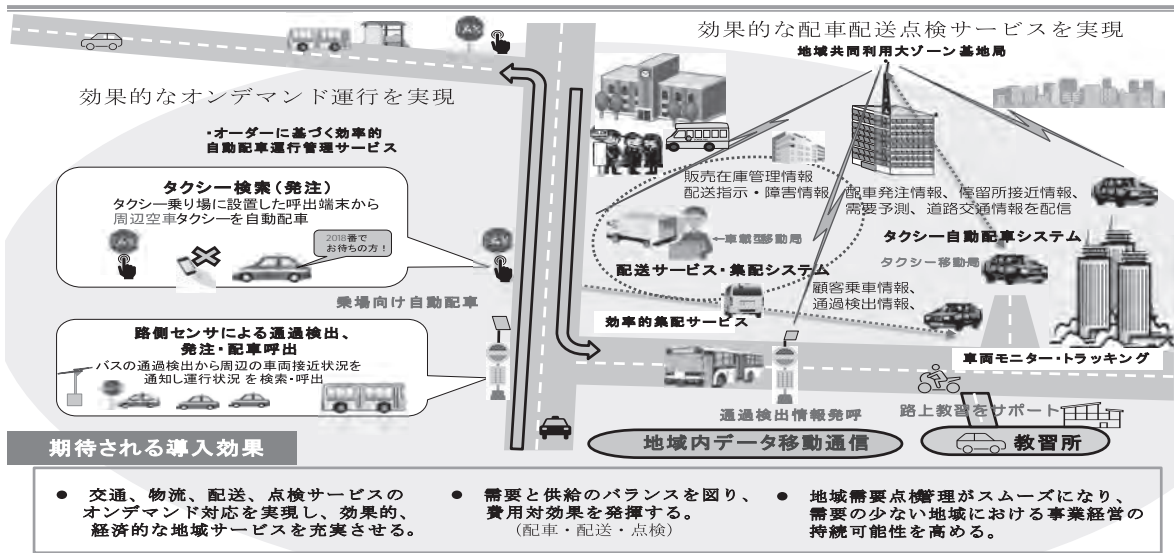


一方、長距離通信を確認するための電波伝搬調査は、豊田市東部の山間（約30km地点）、豊橋方面（約50km）の走行調査を実施しました。これらの伝搬調査を基に基地局の通信エリアを確定し、次に複数のアプリケーションによる技術試験を計画しています。来年3月までに、社会実証に向けた技術試験と地域自営IoT無線局の実現に関する検討を行うこととしています。

〔付録〕業務用IoT無線に求められる様々なユースケース

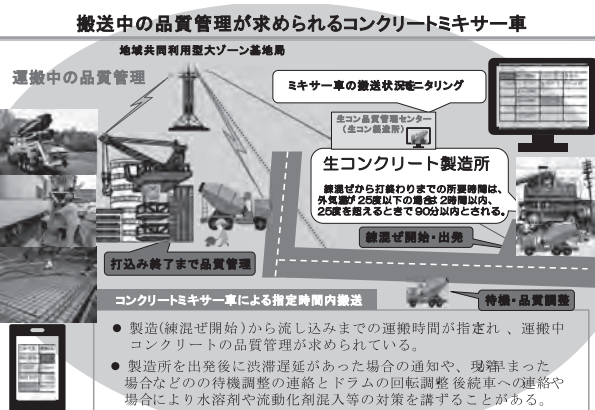
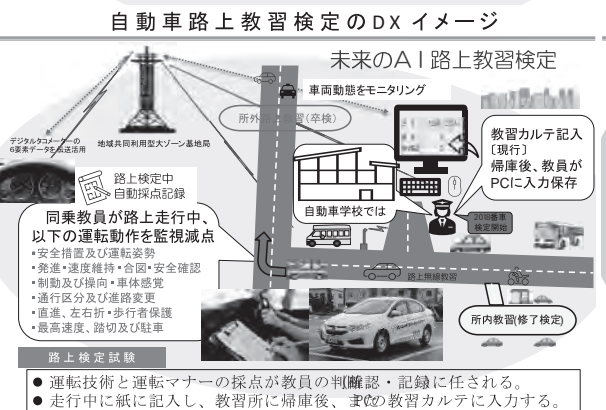
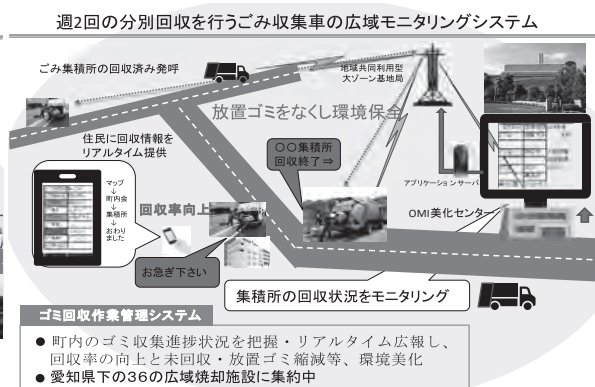
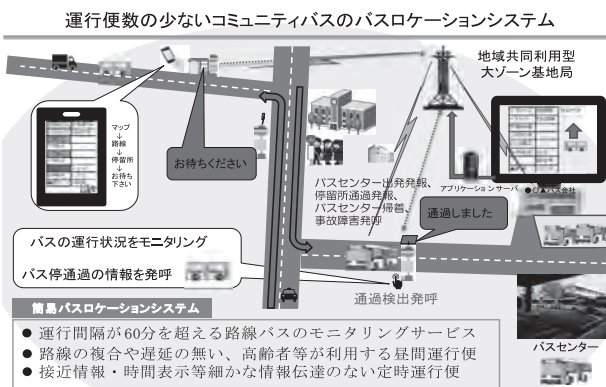
昨年度の調査検討会において、この業務用IoT無線は、以下のような同一域内にあるバスロケーションシステム、地域配送、トラッキングモニターなど、多様なユースケース（利用形態）の地域共同利用が検討されています。

地域における業務用IoT無線の利用イメージ例



業務用IoT無線の利活用により持続可能な地域モビリティ社会を構築

〔昨年度検討されたユースケースの一例〕



全自無連のうごき

令和3年9月～令和4年8月



年月日	主な動き(調査研究を除く)
R3. 9. 1	会報「タクシー無線」第60号発行
9. 6	NTT ドコモ IP 無線共済回線移行打合せ(会議卓)
9. 27	NTT ドコモ IP 無線共済回線移行打合せ(会議卓)
10. 4	NTT ドコモ IP 無線共済回線移行打合せ(会議卓)
10. 13	NTT ドコモ IP 無線共済回線移行打合せ(会議卓)
10. 21	NTT ドコモ IP 無線共済回線移行打合せ(会議卓)
10. 26	NTT ドコモ IP 無線共済回線移行打合せ(会議卓)
11. 8	NTT ドコモ IP 無線共済回線移行打合せ(会議卓)
11. 18	東海協会賛助会員会議講演(東海総合通信局)
11. 29	NTT ドコモ IP 無線共済回線移行打合せ(会議卓)
12. 24	総務省移動通信課長連絡調整会議(自動車会館)
R4. 1. 1	情報誌「インフォメーション・タクム」No.70 発行
1. 26	タクシー問題懇談会新年会(Zoom)
2.4-28	総務省ワイヤレス人材アンケート調査(全国993会員に配布)
2. 14	ワイヤレス人材アンケートヒアリング(会議卓)
2. 17	中央コリドー委員会講演(ccc21)
4. 11	NTT ドコモ IP 無線共済回線移行打合せ(会議卓)
4. 13	令和4年4月期正副会長会(自動車会館)
4.14-25	令和3年度第3回理事会(書面決議)
4. 19	第62回通常総会打合せ(都市センターホテル)
4. 27	関自無協東京支部通常総会(グランドヒル市ヶ谷)
5. 1	情報誌「インフォメーション・タクム」No.71 発行
5. 11	業務会計監査(自動車会館)
5. 12	関自無協通常総会(伊香保・ホテル天坊)
5.12-20	令和4年度第1回理事会(書面決議)
5. 18	故 榎元紀二郎氏(全自無連元副会長)葬儀(上野寛永寺輪王殿)
5. 24	日進市地域公共交通シンポジウム(日進市民会館)
5. 25	東京ハイヤー・タクシー協会通常総会(ホテルニューオータニ)
5. 31	第62回通常総会打合せ(都市センターホテル)
5. 31	総務省通常総会来賓出席要請
6. 1	情報通信月間推進協議会総会(帝国ホテル)
6. 1	「電波の日」中央記念式典(帝国ホテル)
6. 1	通常総会前記者会見(自動車会館)
6. 1	国土交通省通常総会来賓出席要請
6. 2	東海協会通常総会(名鉄グランドホテル)

6. 13	ソフトバンク打合せ（会議卓）
6. 14	第 62 回通常総会、令和 4 年度第 2 回理事会（都市センターホテル）
6. 16	東京ハイヤー・タクシー交通共済協組 50 周年式典（ホテルメトロポリタンエドモント）
6. 17	総会記念品等依頼（亀戸）
6. 22	情報公開共同サイト更新
6. 30	故 宮本市朗氏（全自無連元相談役）お別れの会（帝国ホテル）
7. 4	東海情報通信月間「情報通信フロンティアセミナー」講演
7. 4	役員登記申請（東京法務局）
7. 8	周波数資源開発シンポジウム（明治記念館）
7. 19	会長挨拶まわり（総務省・国土交通省）
その他	電波法人会「定例会」（Zoom）（9/14,10/12,11/9,1/18,3/8,4/12,5/10,6/14,7/19）

年月日	調査研究の主な動き
R3. 10. 11	第 1 回調査検討会（ウインクあいち）
10. 12	第 2 回地域ニーズ訪問調査（岐阜県）
10.19-20	第 3 回地域ニーズ訪問調査+IP 無線共済回線移行要請（岐阜県）
11. 19	実証試験現地調査（日進市役所、名古屋市東山スカイタワー）
12. 6	システム設計事務局会議（Zoom）
12. 11	第 2 回調査検討会進行主査事前説明（アルカディア市ヶ谷）
12. 14	第 2 回調査検討会（ウインクあいち）
12. 15	日進市社会実証試験計画説明（日進市役所）
12. 24	社会実証試験計画打合せ（百人町）
R4. 1. 20	4 年度要望打合せ（全自無連）
2. 21	第 3 回調査検討会（自動車会館）
3. 15	第 4 回調査検討会（名古屋市・ウインクあいち）
3. 16	日進市実証試験計画打合せ（名古屋市）
3. 24	最終報告書説明（大阪大学）
3. 25	日進市実証試験計画打合せ、主管課事前審査説明等（名古屋市他）
3. 30	令和 3 年度調査研究報告書納品（東海総合通信局）
4. 6	東海総合通信局打合せ、社会実証試験実施環境調査（名古屋市他）
4.25-26	打合せ、社会実証試験実施計画説明（名古屋市他）
5.17-18	東山スカイタワー現場調査、実験局免許事前申請、日進市あて計画説明会
5. 19	調達説明会（東海総合通信局）
5. 30	調査研究提案書締切
6.23-24	調査研究契約・実験局申請、東山タワー使用申込、作業支援業務契約等（名古屋市）
7. 4	東海情報通信月間「情報通信フロンティアセミナー」講演
7. 6-7	調査検討会委員要請、業務委託契約、東山タワー使用許可申請等（名古屋市他）
7. 13	ソフト設計 WG（Zoom）
7.27-29	基地局アンテナ設置試験および第 1 回技術試験 1/2（名古屋市・東山スカイタワー）
8.22-24	第 1 回調査検討会および第 1 回技術試験 2/2（名古屋市・東山スカイタワー）

令和4年5月～
令和4年8月
各自動車無線協会のうごき

各協会の皆様には、5/12～20 書面審議「令和4年度第1回理事会」、6/14 開催「第62回通常総会」、「令和4年度第2回理事会」にも、多大なご協力・ご出席を頂きました。どうもありがとうございました。

◇北海道ハイヤー無線協会

- R4. 5. 26 令和4年度通常総会
7. 27 第三級陸上特殊無線技士養成講習会
7月～ 令和4年度無線局定期検査受検についての周知
(該当会員を対象に検査指定月の2か月前を目途に周知文書を順次発出)

◇東北自動車無線協会

- R4. 5. 11 東北電気通信協力会総会（書面開催）
5. 12 仙台移動無線センター理事会開催
5. 12 (一財)仙台移動無線センター資産管理協会理事会開催
5. 16 仙台移動無線センター総会開催
5. 16 (一財)仙台移動無線センター資産管理協会評議員会開催
5. 20 東北受信環境クリーン協議会総会（書面開催）
5. 30 協会宮城県支部総会開催
6. 1 令和4年度「電波の日・情報通信月間記念式典」出席（仙台市）
6. 3 協会第62回通常総会開催（仙台市）
7. 6 東北ハイタク連合会令和4年度通常総会出席（盛岡市）
7. 8 令和4年度東北地方非常通信協議会定期総会（書面開催）

◇関東自動車無線協会

- R4. 5. 12 関自無協 第62回通常総会（群馬県伊香保 ホテル天坊）
5. 12 関自無協 第2回理事会（同）
5. 23 新理事・監事の法務局登記申請
5. 25 東京ハイヤー・タクシー協会通常総会に参加（ホテルニューオータニ）
6. 1 「電波の日・情報通信月間」記念式典にて千葉支部が局長表彰を受賞
7. 1 関自無協会報第94号を発行
7. 21 関東総合通信局長の交代に伴い表敬訪問
8. 10 関東運輸局長の交代に伴い表敬訪問

◇信越自動車無線協会

- R4. 5. 1 信越協会報第135号発行（定期検査指定無線局掲載）
5. 18 令和4年無線局再免許に係る免許状送付（非会員1社）
5. 19 第63回通常総会（軽井沢町）
6. 1 全自無連総会 信越協会 議決権行使書発送
6. 9 公益サイトによる情報公開（R4 ディスクロージャー）
7. 7 信越総合通信局 新局長他 表敬訪問

- 7. 20 新潟県副会長 勇退に係る次期理事会協議確認（3 役）
- 7. 31 信越協会報第 136 号発行

◇北陸自動車無線協会

- R4. 5. 2 北陸自動車無線協会令和 4 年度通常総会案内発送
- 5. 6 金沢移動無線センター事業協同組合令和 4 年度第 1 回理事会（書面）
- 5. 13 金沢移動無線センター事業協同組合確定申告提出
- 5. 16 令和 4 年度再免許状発送（2 対象会員）、データ整理
- 5. 30 北陸受信環境クリーン協議会通常総会（書面）
- 6. 1 令和 4 年度「電波の日・情報通信月間」記念式典（専務理事出席）
- 6. 6 通常総会会場打合せ（KKR ホテル金沢）
- 6. 9 北陸自動車無線協会令和 4 年度（第 58 回）通常総会（金沢市）
- 6. 20 北陸地方非常通信協議会令和 4 年度通常総会（書面）
- 6. 21 会報誌（タクムほくりく令和 4 年度 No.2）発送
- 6. 21 総会議案書、会員名簿、会費請求書発送
- 6. 23 金沢移動無線センター事業協同組合令和 4 年度通常総会、第 2 回理事会（金沢市）
- 7. 26 金沢移動無線センター役員変更法務局申請
- 8. 9 北陸総合通信局長来訪、協会業務概況ご説明（専務理事対応）
- 8. 10 セミナー「インボイス制度導入」（専務理事参加）
- 8. 26 令和 4 年度第 1 回総務委員会（書面審議）

◇東海自動車無線協会

- R4. 5. 9 東海自無協第 40 回通常総会表彰者記念品選定打合せ
- 5. 10 名古屋無線集中基地協会会長との打合せ
- 5. 13 会長との打合せ（総会関係）
- 5.17-18 全自無連調査検討会事務打合せ（東山タワー、日進市）
- 5. 23 無線局再免許状発送
- 5. 24 日進市地域公共交通シンポジウム
- 5. 26 名古屋タクシー協会総会（専務理事出席）
- 5. 27 会長との打合せ（総会関係）
- 6. 1 令和 4 年度電波の日・情報通信月間記念式典
- 6. 2 東海自動車無線協会第 40 回通常総会（名鉄グランドホテル）
- 6. 17 役員変更登記申請事務打合せ
- 6.23-24 全自無連調査検討会事務打合せ（東山タワー等）
- 6. 30 東海地方非常通信協議会定期総会
- 7. 1 会報「自無協だより」（夏号）発行
- 7. 1 名古屋無線集中基地施設保険事務打合せ
- 7. 4 情報通信フロンティアセミナー（オンライン参加）
- 7. 6-7 全自無連調査検討会事務打合せ（検討会委員参画要請）
- 7.12-13 公益法人協会セミナー（会計事務 事務員）

- 7. 14 公益法人協会セミナー（専務理事）
- 7. 20 東海総合通信局新局長へ訪問挨拶（会長、専務理事）
- 7. 22 社会保険事務講習会（事務員）
- 7.27-29 全自無連調査検討会第1回技術試験（東山スカイタワー）
- 8. 17 全自無連調査検討会事務打合せ（東海総合通信局他）
- 8.22-24 全自無連令和4年度第1回調査検討会支援（東山スカイタワー）
- 8. 26 令和3年度第3回電波の日・情報通信月間推進委員会（Web会議）

◇近畿自動車無線協会

- R4. 5. 12 近畿総合通信局無線通信部長との関係団体打合せ（近畿総合通信局）
- 5. 13 総合通信局長への会長挨拶（近畿総合通信局）
- 5. 17 通常総会来賓（運輸支局、県警本部）へ挨拶、総会会場打合せ（和歌山市内）
- 5. 18 兵庫県支部総会出席（神戸市内）
- 5. 24 令和4年度通常総会（ホテルアバローム紀の国 和歌山市）
- 5. 25 総会来賓（近畿総通局、近畿運輸局）へ謝辞（大阪市内）
- 6. 1 電波の日・情報通信月間記念式典出席（ホテルニューオータニ大阪）
- 6. 8 非常通信協議会総会出席（KKR ホテル大阪）
- 6. 20 大阪集中基地局管理会社 会計監査（大阪市内）
- 7. 4 会報「近自無協だより No.245 令和4年夏号」発行
- 7. 20 大阪集中基地局管理会社 取締役会（大阪市内）
- 8. 2 無線従事者養成講習会（大阪市内）
- 8. 3 大阪集中基地局管理会社 株主総会（KKR ホテル大阪）

◇中国自動車無線協会

- R4. 5. 10 第67回通常総会へ中国運輸局長、広島県警本部刑事部長の出席要請
- 5. 10 中国運輸局自動車交通部旅客第二課長へ講演要請
- 5. 12 第67回通常総会へ総務省中国総合通信局長の出席要請
- 5. 19 監事により会計監査を実施
- 5. 20 第1回理事会を広島市（ガーデンパレス広島）で開催
- 5. 26 中国情報通信懇談会の監査を専務理事が実施
- 5. 31 中国運輸局自動車交通部、広島県警本部刑事部へ訪問し総会当日のスケジュール等の説明
- 6. 1 電波の日の式典に岩沖会長、内田専務理事が出席
- 6. 7 第67回通常総会を広島市（ホテルグランヴィア広島）で開催
- 6. 29 広島移動無線センターの広島集中基地局の定期点検
- 7. 4 中国地方非常通信協議会総会及び防災情報通信セミナーへ出席
- 7. 6 広島法務局へ法人変更登記申請書を提出
- 7. 27 自動車無線情報 223号（会報誌）の発行
- 8. 1 税理士による会計監査の実施

◇四国自動車無線協会

- R4. 5. 6 渡部会長との会長打合せ (Tel)
- 5. 10 2022 年度第 1 回理事会 (書面)
- 5. 13 渡部会長との打合せ (Tel)
- 6. 17 渡部会長との打合せ (Tel)
- 6. 21 第 62 回通常総会 (高松市生涯学習センター)
- 6. 21 2022 年度第 2 回理事会 (高松市生涯学習センター)
- 8 月 会報「四国タクシー無線通巻 131 号」発行

◇九州タクシー無線協会

- R4. 5. 19 九州受信環境クリーン協議会総会 (Web)
- 5. 30 九州地方非常通信協議会総会 (書面) ~6/6
- 6. 1 電波の日式典 (会長・専務理事出席)
- 6. 2 第 61 回通常総会 (熊本市)
- 6. 3 会員名簿 (2022 年度版) 発送
- 6. 7 法務局へ変更登記申請
- 6. 13 総会終了に伴うホームページ更新
- 6. 28 IT 業者によるシステム点検
- 7. 1 会報「九州タクシー無線」7 月号発行
- 7. 26 九州総合通信局新任局長へ挨拶 (電気通信法人会)
- 7. 29 九州総合通信局新任局長へ挨拶 (会長・専務理事)
- 8. 30 IT 業者によるシステム点検

資 料

- 正会員名簿 31
- 都道府県別タクシー無線の状況 32
- 都道府県別共同配車センター状況 36
- 年度別共同配車センターの団体数 37
- 賛助会員名簿 38

正 会 員 名 簿

団 体 名	所 在 地	会 長 名
一般社団法人 北海道ハイヤー無線協会	〒064-0808 札幌市中央区南 8 条西 15 丁目 4-1 北海道ハイヤー会館内 TEL (011)561-1171 / FAX (011)551-0161	紫藤 正行
一般社団法人 東北自動車無線協会	〒983-0862 仙台市宮城野区二十人町 301-22 タクシー会館 3F TEL (022)292-7890 / FAX (022)292-7891	石川 康夫
一般社団法人 関東自動車無線協会	〒102-0074 千代田区九段南 4-8-13 自動車会館 3F TEL (03)3262-5262 / FAX (03)3221-7047	高野 公秀
一般社団法人 信越自動車無線協会	〒381-0034 長野市大字高田字高田沖 359-3 長野県タクシー会館 3F TEL (026)226-3866 / FAX (026)226-4414	金井 正志
一般社団法人 北陸自動車無線協会	〒920-0918 金沢市尾山町 9-13 金沢商工会議所会館 3F TEL (076)222-4145 / FAX (076)222-4145	土田 英喜
一般社団法人 東海自動車無線協会	〒460-0008 名古屋市中区栄 1-21-10 つばめ第 2 栄ビル 3F TEL (052)231-2545 / FAX (052)228-0136	天野 清美
一般社団法人 近畿自動車無線協会	〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-6-4 天満橋八千代ビル 4F TEL (06)6941-4600 / FAX (06)6946-1660	池田 誠也
一般社団法人 中国自動車無線協会	〒730-0004 広島市中区東白島町 21-16 多田ビル 3F TEL (082)221-9357 / FAX (082)221-9337	岩沖 卓雄
一般社団法人 四国自動車無線協会	〒790-0067 松山市大手町 1-7-4 伊予鉄大手町ビル 3F TEL (089)943-5354 / FAX (089)907-6133	渡部 光男
一般社団法人 九州タクシー無線協会	〒860-0805 熊本市桜町 2-17 第 2 甲斐田ビル 4F TEL (096)353-3916 / FAX (096)288-1260	稲葉 伸一郎

都道府県別タクシー無線の状況

協会名	都道府県	免許人数	所属会員数		基地局数				陸上移動		
			会員数	賛助会員数	合計	内訳			合計 <small>※再掲を含まない</small>	内	
						π/4QPSK方式	4値FSK方式	アナログ方式		π/4QPSK方式	4値FSK方式
北海道	札幌地区	74	63	/	77	57	20	0	5,088	4,789	299
	函館地区	23	19	/	22	5	17	0	702	394	308
	室蘭地区	13	11	/	15	6	9	0	364	253	111
	旭川地区	25	21	/	25	12	13	0	869	666	203
	十勝地区	11	10	/	11	6	5	0	276	237	39
	釧根地区	17	13	/	17	9	8	0	495	392	103
	北見地区	12	0	/	13	11	2	0	334	307	27
	小計	175	137	0	180	106	74	0	8,128	7,038	1,090
東北	青森	75	80	/	75	26	49	0	1,998	1,154	844
	岩手	108	114	/	112	27	85	0	1,663	709	954
	秋田	53	58	/	60	17	43	0	970	575	395
	宮城	99	113	/	103	35	68	0	2,504	1,241	1,263
	山形	60	64	/	66	22	44	0	1,156	650	506
	福島	94	98	/	104	54	50	0	1,776	1,190	586
	小計	489	527	23	520	181	339	0	10,067	5,519	4,548
関東	東京	60	146	/	52	48	4	0	5,792	5,715	77
	神奈川	87	98	/	93	75	18	0	4,223	3,912	311
	埼玉	82	95	/	79	64	15	0	2,539	2,246	293
	千葉	107	114	/	101	63	38	0	3,209	2,708	501
	茨城	109	115	/	111	29	82	0	1,252	425	827
	栃木	37	44	/	35	13	22	0	532	270	262
	群馬	36	36	/	34	16	18	0	1,008	764	244
	山梨	42	44	/	39	4	35	0	383	65	318
	小計	560	692	30	544	312	232	0	18,938	16,105	2,833
信越	長野	65	69	/	72	25	47	0	1,775	1,261	514
	新潟	75	73	/	72	29	43	0	1,708	1,069	639
	小計	140	142	13	144	54	90	0	3,483	2,330	1,153
北陸	石川	42	49	/	40	23	17	0	1,259	1,063	196
	富山	32	41	/	33	18	15	0	748	554	194
	福井	19	32	/	16	9	7	0	398	268	130
	小計	93	122	13	89	50	39	0	2,405	1,885	520

(2022.3.31 現在)

局 数		AVM システム利用		配車アプリ利用	IP 無線利用			MCA 無線利用 ※注 2	
訳		利用免許人数	利用移動局数		利用会員数	利用移動局数	配車アプリ利用	利用免許人数	利用移動局数
アナログ方式	携帯型(指導車等) ※(内は再掲)								
0	0	67	3,256	0	11	336	0		
0	0	12	480	0	2	12	0		
0	0	9	225	0	5	108	0		
0	0	18	546	0	7	55	0		
0	0	13	270	0	3	63	0		
0	0	11	332	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0	0		
0	0	130	5,109	0	28	574	0	3	16
0	0	36	1,481	15	5	35	0		
0	0	43	1,095	8	6	248	0		
0	0	22	712	8	5	83	0		
0	0	51	1,623	27	14	767	0		
0	0	31	880	6	4	38	0		
0	0	64	1,482	7	5	34	0		
0	0	247	7,273	71	39	1,205	0		9
0	0	44	5,693	0	102	18,798	0		
0	0	77	4,163	0	15	1,121	0		
0	0	73	2,389	0	16	395	0		
0	0	90	3,047	0	18	859	0		
0	0	48	829	0	14	395	0		
0	0	23	448	0	9	190	0		
0	0	20	824	0	3	96	0		
0	0	13	198	0	5	50	0		
0	0	388	17,591	0	182	21,904	0		7
0	(1)	42	1,581	810	12	521	290		
0	(3)	47	1,464	622	6	159	98		
0	(4)	89	3,045	1,432	18	680	388	4	34
0	0	28	1,132	11	7	95	2		
0	0	27	643	7	7	104	3		
0	0	17	351	0	12	268	3		
0	0	72	2,126	18	26	467	8		4

協会名	都道府県	免許人数	所属会員数		基地局数				陸上移動		
			会員数	賛助会員数	合計	内訳			合計 ※再掲を含まない	内	
						π/4QPSK方式	4値FSK方式	アナログ方式		π/4QPSK方式	4値FSK方式
東海	岐阜	21	33		37	27	10	0	1,066	932	134
	静岡	72	70		71	53	18	0	2,704	2,373	331
	愛知	60	66		68	51	17	0	4,168	3,868	300
	三重	16	17		23	14	9	0	562	477	85
	小計	169	186	10	199	145	54	0	8,500	7,650	850
畿	大阪	32	42		29	26	3	0	2,658	2,583	75
	京都	31	18		19	19	0	0	2,748	2,748	0
	兵庫	52	32		31	17	14	0	1,070	891	179
	奈良	32	24		22	9	13	0	489	298	191
	和歌山	29	15		15	3	12	0	289	133	156
	滋賀	17	13		17	14	3	0	536	491	45
小計	193	144	12	133	88	45	0	7,790	7,144	646	
中	広島	87	82		88	60	28	0	2,303	2,002	301
	岡山	42	45		50	22	26	2	1,158	714	201
	山口	45	44		41	22	19	0	805	605	200
	鳥取	16	16		23	9	14	0	404	255	149
	島根	37	36		38	6	32	0	514	217	297
	小計	227	223	33	240	119	119	2	5,184	3,793	1,148
四	徳島	14	14		14	1	13	0	164	45	119
	香川	50	75		42	14	28	0	896	630	266
	愛媛	56	79		45	19	26	0	933	553	380
	高知	51	52		42	15	27	0	798	499	299
	小計	171	220	10	143	49	94	0	2,791	1,727	1,064
九	福岡	116	145		106	79	27	0	5,741	4,251	1,490
	佐賀	16	17		18	10	8	0	454	315	139
	長崎	54	72		53	14	37	2	1,415	586	797
	熊本	24	45		21	13	8	0	799	538	261
	大分	25	32		25	8	17	0	537	271	266
	宮崎	24	29		38	27	10	1	1,019	863	156
	鹿児島	47	61		47	17	29	1	1,542	911	574
小計	306	401	23	308	168	136	4	11,507	7,735	3,683	
合計	2,523	2,794	167	2,500	1,272	1,222	6	78,793	60,926	17,535	
※注1	沖縄県	35	-	-	27	21	6	0	1,575	1,471	104

注1) 沖縄県のデータ(参考)は、総務省沖縄総合通信事務所の統計による。

注2) MCA無線利用については、(一財)移動無線センターの「地区別デジタルMCAタクシー無線局統計表」による。

局数		AVMシステム利用		配車アプリ利用	IP無線利用			MCA無線利用 ※注2	
訳		利用免許人数	利用移動局数		利用会員数	利用移動局数	配車アプリ利用	利用免許人数	利用移動局数
アナログ方式	携帯型(指導車等) ※(内は再掲)								
0	0	17	1,006	0	13	478	0		
0	0	47	2,498	0	14	690	0		
0	0	44	4,029	0	15	2,059	0		
0	0	8	527	0	4	154	0		
0	0	116	8,060	0	46	3,381	0		
							9	176	
0	0	24	2,634	0	19	3,007	0		
0	0	12	2,748	0	6	542	0		
0	0	16	905	0	9	720	0		
0	0	18	459	0	4	58	0		
0	0	5	217	0	5	105	0		
0	0	10	511	0	2	136	0		
0	0	85	7,474	0	45	4,568	0		
							8		249
0	0	51	2,071	0	5	198	0		
243	0	19	1,011	0	7	170	0		
0	0	28	630	0	1	6	0		
0	0	9	369	0	0	0	0		
0	0	4	129	0	4	217	0		
243	0	111	4,210	0	17	591	0		
							10	159	
0	0	3	98	0	0	0	0		
0	0	26	895	0	22	301	0		
0	0	44	967	0	23	329	0		
0	0	109	713	0	1	7	0		
0	0	182	2,673	0	46	637	0		
							6	81	
0	(10)	108	5,622	0	26	1,479	0		
0	(2)	9	352	0	1	52	0		
32	(2)	27	1,178	0	20	509	0		
0	(2)	17	725	0	19	586	0		
0	(2)	8	333	0	6	69	0		
0	(5)	19	876	0	6	107	0		
57	(5)	13	955	0	13	216	0		
89	(28)	201	10,041	0	91	3,018	0		
332	(32)	1,621	67,602	1,521	538	37,025	396		
							34		526
							94	1,944	
0	0	-	-	-	-	-	-	0	0

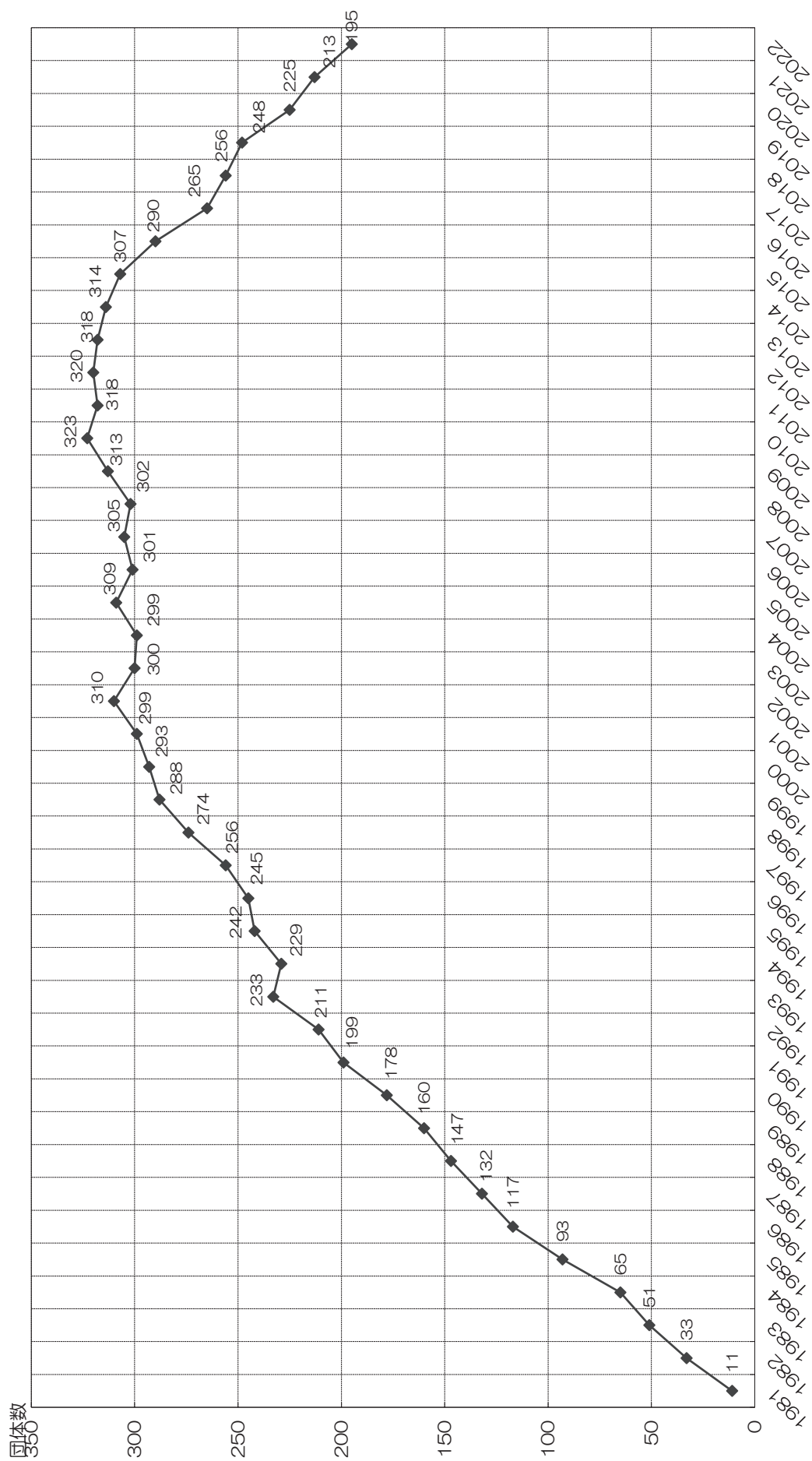
都道府県別共同配車センター状況

(2022.3.31 現在)

協会名	都道府県	団体数 (A)	所属車両数 (B)	構成事業者数 (C)	1団体あたりの 平均保有車両台数 (B) ÷ (A)
北海道	札幌地区	7	1,537	16	219.6
	函館地区	2	110	4	55.0
	室蘭地区	0	0	0	0.0
	旭川地区	2	153	3	76.5
	十勝地区	0	0	0	0.0
	釧根地区	0	0	0	0.0
	北見地区	1	10	2	10.0
	小計	12	1,810	25	
東北	青森	5	525	12	105.0
	岩手	4	140	9	35.0
	秋田	0	0	0	0.0
	宮城	5	423	11	84.6
	山形	2	24	4	12.0
	福島	10	623	27	62.3
	小計	26	1,735	63	
関東	東京	5	1,059	17	211.8
	神奈川	11	1,913	37	173.9
	埼玉	6	599	22	99.8
	千葉	9	1,336	30	148.4
	茨城	3	83	8	27.7
	栃木	1	38	2	38.0
	群馬	3	183	9	61.0
	山梨	1	18	3	18.0
	小計	39	5,229	128	
信越	長野	3	227	6	75.7
	新潟	5	278	13	55.6
	小計	8	505	19	
北陸	石川	4	400	11	100.0
	富山	3	327	7	109.0
	福井	2	135	5	67.5
	小計	9	862	23	
東海	岐阜	1	80	2	80.0
	静岡	6	469	14	78.2
	愛知	5	282	10	56.4
	三重	1	16	2	16.0
	小計	13	847	28	
近畿	大阪	3	501	7	167.0
	京都	6	1,131	16	188.5
	兵庫	3	271	8	90.3
	奈良	4	117	8	29.3
	和歌山	2	133	4	66.5
	滋賀	1	36	2	36.0
	小計	19	2,189	45	
中国	広島	9	496	21	55.1
	岡山	2	311	5	155.5
	山口	4	219	11	54.8
	鳥取	0	0	0	0.0
	島根	1	5	2	5.0
	小計	16	1,031	39	
四国	徳島	0	0	0	0.0
	香川	7	245	11	35.0
	愛媛	8	104	19	13.0
	高知	7	215	14	30.7
	小計	22	564	44	
九州	福岡	14	892	38	63.7
	佐賀	0	0	0	0.0
	長崎	7	533	17	76.1
	熊本	3	324	10	108.0
	大分	3	150	6	50.0
	宮崎	3	438	8	146.0
	鹿児島	1	36	2	36.0
	小計	31	2,373	81	
合計		195	17,145	495	

注) 協同組合は含まない。

年度別共同配車センターの団体数



賛 助 会 員 名 簿

団 体 名	所 在 地	代 表 者
株式会社システムオリジン	〒424-0809 静岡市清水区天神 1-3-12 TEL (054)361-0210 (代表)	海野 知之
新潟通信機株式会社	〒950-8580 新潟市中央区上所中 3-14-8 TEL (025)282-1800 (大代表)	梶山 美佐男
株式会社デンソーテン	〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 1-17 アジアワンセンター13階 TEL (078)803-8824	太場 清貴
トム通信工業株式会社	〒223-0057 横浜市港北区新羽町 1244 TEL (045)543-3800	星 敏典
パナソニックコネクト株式会社	〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町 600 TEL (045)938-1543	千秋 賢一
モバイルクリエイイト株式会社	〒870-0823 大分市東大道 2-5-60 TEL (097)576-8181	村井 雄司
西菱電機株式会社	〒105-0012 港区芝大門 1-1-30 芝 NBF タワー12F TEL (03)5777-3974	宮本 朗
ソフトバンク株式会社	〒105-7317 港区東新橋 1-9-1 東京汐留ビルディング 17F TEL (03)6889-9311	原田 一
一般社団法人沖縄総合無線センター	〒900-0027 沖縄県那覇市山下町 18 番 26 山下市街地住宅 B-205 TEL (098)996-3304	親泊 一郎
株式会社 Mobility Technologies	〒106-6216 港区六本木 3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー16F TEL (03)6633-2820	中島 宏
S.RIDE 株式会社	〒110-0016 台東区台東 1-24-2 TEL (03)6284-2035	西浦 賢治



編集後記

長引く感染拡大の中、懸命な経営努力が続けられています。無線配車、受注体制の見直しなどが求められていますが、顧客からのアプリ配車だけに依拠することなく責任ある安全運行管理と信頼される地域供給が重要です。そのため効果的かつ経済的な無線システムの提案をめざし調査研究活動を進めています。会員と会員事業の維持継続のため本号をお送りします。

(編集部 岡崎、古山)

タクシー無線 2022年（令和4年）9月 第61号

一般社団法人 全国自動車無線連合会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 自動車会館

電話 (03)3262-5261 FAX (03)3221-7047